

# 令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学 I			
教 科	数学科	単位数	3単位	学年・コース
使用教科書	教研出版 新編 数学 I			
副教材等	教研出版 教科書傍用 3 TRIAL 数学 I + A			

## 1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための要点を含む)

- ① 基礎的な知識の習得と技能の習熟
- ② 事象を数学的に考察する能力
- ③ 数学の良さを認識でき、それらを活用する

## 2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 数と式 第1節 式の計算		10月	第4章 図形と計量 第1節 三角比	第2学期中間考查
5月	第2章 集合と命題 第2節 実数 第3節 1次不等式	第1学期中間考查	11月	第2節 三角形への応用	
6月	第3章 2次関数 第1節 関数とグラフ 第2節 関数の値の変化	第1学期期末考查 1学期授業時数は30時間程度	12月		第2学期期末考查 2学期授業時数は35時間程度
7月		第1学期期末考查 1学期授業時数は30時間程度	1月	第5章 データの分析	
8月			2月		
9月	第3節 2次方程式と2次不等式		3月		第3学期期末考查 3学期授業時数は25時間程度

## 3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ①定期考査の結果
- ②定期考査の結果
- ③課題の提出状況（問題集、プリント）、授業態度、小テストの結果

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

# 令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学 I			
教 科	数学科	単位数	3単位	学年・コース
使用教科書	新編 数学I (数研出版)			
副教材等	3TRIAL 数学I+A (数研出版)			

## 1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重点を含む)

数学的な見方・考え方を実践の中から学び・検証することで数学的思考の定着を図り、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する。

## 2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 数と式 第1節 式の計算 1 整式の加法と減法 2 整式の乗法 3 因数分解 第2節 実数 4 実数 5 根号を含む計算	授業に取り組む姿勢 小テスト 提出物 第1学期中間考查	10月	第2節 2次関数の値の変化 3 2次関数の最大・最小 4 2次関数の決定	授業に取り組む姿勢 小テスト 提出物 第2学期中間考查
5月	第3節 1次不等式 6 不等式の性質 7 1次不等式 8 絶対値を含む方程式・不等式		11月	第3節 2次方程式と2次不等式 5 2次方程式 6 2次関数のグラフとX軸の位置関係 7 2次不等式	
6月	第2章 集合と命題 1 集合 2 命題と条件 3 命題とその逆・対偶・裏 4 命題と証明	授業に取り組む姿勢 小テスト 提出物 第1学期期末考查	12月	第4章 図形と計量 第1節 三角比 1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張	授業に取り組む姿勢 小テスト 提出物 第2学期期末考查
7月			1月	第2節 三角形への応用 4 正弦定理 5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用 7 三角形の面積 8 空間図形への応用	
8月			2月	第5章 データの分析 1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分散と標準偏差 5 データの相関	授業に取り組む姿勢 小テスト 提出物 第3学期期末考查
9月	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ		3月		

## 3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [定期考查]
- ② 思考・判断・表現 [定期考查]
- ③ 主体的に学習に取り組む態度 [小テスト、提出物、授業に取り組む姿勢]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

# 令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学A			
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース
使用教科書	教研出版 新編 数学A			
副教材等	教研出版 教科書傍用 3 TRIAL 数学 I + A			

## 1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要な点を含む)

数字的な考え方・考え方を働きかせ、数字活動を通して、数字的に考える資質・能力を育成することを目指す。

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う

## 2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1 場合の数と確率 第1節 場合の数 集合の要素の個数 場合の数		10月	チェバ・メネラウスの定理 円に内接する四角	
5月	順列 組み合わせ		11月	円と直線 2つの円 作図 第2節 空間図形 直線と平面	
6月	第2節 確率 事象と確率 確率の基本性質 確率の基本性質 独立な試行と確率 条件付き確率	小テスト19回 第1学期期末考査	12月	空間図形と多面体	小テスト12回 第2学期期末考査
7月			1月	第3章 数学と人間の活動	
8月			2月	数学B 第2章 統計的な推測	
9月	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心		3月		小テスト15回 第3学期期末考査

※ 第3学期期末考査の試験範囲は数学Aの第3章「数学と人間の活動」また数学B「統計的な推測」は2学年数学B第1学期中間考査にて行います。

## 3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ①定期考査の結果
- ②定期考査の結果
- ③課題の提出状況(問題集、プリント)、授業態度、小テストの結果

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

# 令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学A			
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース
使用教科書	教研出版 新編 数学A			高校1年・進学
副教材等	教研出版 教科書傍用 3 TRIAL 数学 I + A			

## 1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要な点を含む)

数字的な見方・考え方を働きかせ、数字活動を通して、数字的に考える資質・能力を育成することを目指す。

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う

## 2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1 場合の数と確率 第1節 場合の数 集合の要素の個数 場合の数		10月	独立な試行と確率	
5月	順列 組み合わせ		11月	条件付き確率 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 三角形の辺の比	
6月	第2節 確率 事象と確率 確率の基本性質		12月	三角形の外心・内心・重心 チェバ・メネラウスの定理	小テスト12回 第2学期期末考査
7月	確率の基本性質	小テスト19回 第1学期期末考査	1月	円に内接する四角形 円と直線 2つの円	
8月			2月	作図 直線と平面	
9月			3月	第2節 空間図形 空間図形と多面体 第3章 数学と人間の活動 1次不定方程式	小テスト15回 第3学期期末考査

## 3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ①定期考査の結果

- ②定期考査の結果

- ③課題の提出状況（問題集、プリント）、授業態度、小テストの結果

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します